

平成 28 年（2016 年） 6 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 1 日 目 ）

平成 28 年 6 月 14 日（火）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	花 城 正 樹 (なはの翼【無 所属 G】) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 人事交流に ついて 2 ジビエ行政 について 3 水産・観光国 際競争力強化 事業について 4 教育行政に ついて	官民の人事交流について、効果を伺う 国は、野生鳥獣による農作物被害対策の一環で 表示規格を定め、ジビエの流通量を増やす取り組 みを始めた。本市との関わりについて伺う 事業の概要について伺う 本市小学校低学年におけるいじめの対応につ いて、プロセスを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 28 年 6 月 14 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	屋 良 栄 作 (な は の 翼 【無所属G】) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 大規模災害 被災後の対応 について 2 入札不調に ついて	(1) 地震などの大規模災害に被災後の初期対応はどうなっているか (2) 県内及び県外ボランティア団体および個人への対応はどうなっているか (3) 行政の受援力という考え方があるが、本市の見解を伺う (1) 入札不調が深刻だと聞いているがどんな状況か (2) 原因は何で、どのように対策をしているか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 28 年 6 月 14 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 本市の水産業の振興について 2 道路行政について	(1) 那覇市は県下最大の水揚げを誇る水産都市である。その実態と、市魚となっているマグロ類漁獲量を全県比較で問う (2) 地方卸売市場である、泊魚市場の取扱量、取扱額を問う (3) 泊魚市場が糸満市移転との報道が有るが、泊魚市場は今後どうなるのか問う (4) 泊魚市場の老朽化や安全・衛生面の課題が指摘されているが、泊魚市場の課題と解決への施策・取り組みを問う (5) 泊魚市場の再整備計画への取り組みについて問う (6) 地元客や観光客でにぎわっている「泊いゆまち」の整備について問う (7) 本市の水産業の課題を問う (8) 第3次那覇市水産業振興基本計画の考え方・取り組みを問う (1) 安謝小学校周辺は、里道が多く、経年劣化に整備が追いついていない。地域高齢者から、「歩きにくい・転んでしまった。消防車などは入ってこられるのか」等の声がある。那覇市の里道整備について、この地域は対象となっているのか見解を問う (2) 新港ふ頭中央緑地周辺市道は、簡保那覇レクセンター閉鎖以来、放置車両が増え、周辺環境の悪化が懸念されている。市当局の対策を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 28 年 6 月 14 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	喜舎場 盛 三 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 救急行政について 2 防災行政について 3 食品ロスについて	本市において外国人観光客が救急搬送された数は、平成 25 年が 57 件、26 年は 78 件、27 年は 100 件と増加傾向にあるようだが、日本語が話せない外国人のけがや病気による緊急搬送時などに病状を迅速かつ正確に特定し適切な治療へつなげるため、本市ではどのような取り組みをしてきたのか、また現在どのように取り組みをしているのか伺う 那覇市災害時要援護避難支援計画が策定されている (1) 本市において、要援護者名簿は作成中であると思うが、現在何名が作成されているのか伺う (2) 福祉避難所の指定状況を伺う まだ食べられるのに捨てられる食べ物、いわゆる「食品ロス」が各家庭やホテル・レストランなど、あらゆるところで見受けられる。日本では年 2,800 万トンの食品廃棄物が発生しており、そのうち 500 万～800 万トンが食品ロスと推計されている (1) 本市において学校などの教育施設で、食品ロス削減のための啓発を進めることはできないか伺う (2) 本市に消費期限が迫った食品を引き取り、生活困窮者への無償提供をする NPO 法人「フードバンク」が存在するが、その法人とどのように関わっているのか、また支援しているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 交通行政について	市道「与儀国場北線」と「国場中央線」が交わる交差点は大変危険なため、改善を要望する声が多いが当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 28 年 6 月 14 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	大 浜 安 史 (公明党) 質問方式 総括方式 (質問席のみ)	1 熊本地震での緊急消防援助隊活動状況について 2 那覇・南風原クリーンセンター敷地内での地すべりについて 3 ごみ処理施設「那覇・南風原クリーンセンター」について	熊本地震被災地への本市の救援活動状況と今後の取り組み及び災害時での教訓となった事について伺う 本島地方で4月8日から4月10日にかけて、集中豪雨により那覇・南風原クリーンセンター敷地で斜面の擁壁が高さ約10メートル幅20メートル崩れて電柱をなぎ倒した状況であった 2次災害が発生しないよう、予防対策と今後の取り組みについて伺う 那覇・南風原クリーンセンターは「環境にやさしい資源・エネルギー還元施設」として5つの特徴を持っている施設である。県内最大の廃棄物発電施設として、ごみを燃やすことで出る廃燃で発電し、施設内で使用する電力を全て補い、更に還元施設「環境の杜ふれあい」にも供給するものであり、また、余った電力は電力会社へ売電されている (1) 平成18年に供用開始し10年目を迎える現在までの売電（キロ当り単価）月々、年間いくらずで平成18年から平成28年まで基金積立金はいくらなのか伺う (2) 草木の処理は、現在委託しているが燃やす事によってバイオ係数が上り、売電単価も上がると聞いているが変更する考えはないか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 小学校通学路点検について 5 第 11 回「やる気・元気旗頭フェスタ in なは」について	(1) 市内小学校の通学路点検を調査して改善をされた経緯がある。学校通学路周辺の横断歩道・スクールゾーン標示が消えかかっているが、道路標示の整備について伺う (2) 城北小学校周辺の視覚障がい者誘導用(点字)ブロック設置状況について伺う 去年は、那覇新都心公園の大原っぱで開催されている。小中学校 38 校(小学校 20 校、中学校 18 校)の児童生徒が参加して、晴天に恵まれ多くの応援保護者に見守られて楽しく、旗頭を舞い上げていた。一方残念な事に小学校 16 校がスケジュールの関係(運動会等)で参加していないことがあった。今年は多くの小学校が参加することを期待している 5 年前には第 5 回世界うちなーんちゅ大会関連イベントとして、沖縄セルラースタジアムで開催された経緯がある。今回も世界うちなーんちゅ大会の開催にあわせて沖縄セルラースタジアムで開催できないか、昨年 6 月議会においても要望したが、今年の第 11 回やる気・元気旗頭フェスタ in なは」の会場はどこに決定しているのか。また、健全育成上、素晴らしい事業であるが、予算についても増額しているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（1日目） 平成28年6月14日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 救急医療および消防行政について 2 防犯および安心安全なまちづくりについて 3 人材育成とこどもの貧困対策について	救急医療および消防力をさらに強化すべきである。以下伺う (1) より迅速な救急医療および早期回復に効果がある、「クラウド型モバイル心電図伝送システム」を那覇市消防局の全ての救急車に導入すべきである。見解を伺う (2) 積極的な国際貢献と、消防力の強化に繋げるためにも、I R T (国際消防救助隊) に那覇市消防局も参加できるよう取り組むべきである。見解を伺う 行政としての事件事故防止および防犯対策をさらに推進すべきである。特に、街灯・防犯灯の設置や、青色回転灯防犯パトロールの補助、防犯カメラや交差点における赤色回転灯の設置などの取り組みを推進すべきである。見解を伺う 人材育成とこどもの貧困対策に関する取り組みを、さらに推進すべきである。以下伺う (1) 就学援助の拡充と、利用率のさらなる向上を図るべきである。そのための今後の具体的な取り組みを伺う (2) ひとり親世帯の中には、養育費を受け取れず生活に苦しみという状況が存在し、事例としては決して少なくない 那覇市のこどもたち、市民の皆様のより良い暮らしを追求する那覇市として、看過できない社会問題ではないのか。離婚手続きの前に、養育費の取り決めに促す取り組みを進めるべきである。見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 県の「こどもの貧困対策基金」を活用して、こどもの居場所づくりや学習支援を行う団体や企業、NPO、地域、個人等を繋いでマッチングを行い、人材バンクやフードバンクの機能を併せ持つ「(仮) こども育成支援センター」のような拠点を設置して、こどもの貧困対策をさらに推進すべきである。見解を伺う (4) 県の「こどもの貧困対策基金」を活用するなどして、こどもの居場所や学習支援を行う地域の施設に、パソコンやIT機器、机や椅子など、学習に必要な備品を設置し、こどもたちの環境を充実させるべきである。見解を伺う
		4 生活道路の整備および交通安全対策について	(1) 安心安全な生活道路の整備を推進すべく、「私道整備補助制度」の拡充をすべきである。見解を伺う (2) 具志地域の交差点(具志自治会館から航空自衛隊那覇基地ゲート向け、ファミリーマート裏手の一時停止の交差点)の安全対策、道路整備を早急に実施すべきである。見解を伺う
		5 公園行政について	全てのこどもたちと親御さんが、快適に安心して利用できる公園となる「ユニバーサルデザイン公園」の設置を推進すべきである。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長